

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	1-2-1		事業名	札幌市奨学金の拡充			
担当	教育委員会学校教育推進課 菅原・村山 Tel211-3851						
全体計画							
事業内容	能力があるにもかかわらず経済的理由によって修学困難な高校生、大学生等に奨学金を支給。市奨学金支給条例で、札幌市民であること 大学、高等学校、高等専門学校または専修学校(制限あり)に在学していること 学資に乏しいこと 学業が優秀で性行が善良であること の採用要件と支給額を定めている。 計画期間においては、市長公約である奨学生倍増に向けて、20年度から22年度までの採用人数を毎年180人程度増やし、22年度には奨学生を1,000人採用する。 また、「定時制高等学校の生徒」と「障がいのある生徒・学生」という新たな採用枠を設け、20年度から採用し、22年度には全奨学生1,000人に対して100人程度を採用する。 事業費については、計画期間中の採用人数増に係る事業費のみ計画に計上する(レベルアップ事業)。			<年度別の事業内容>			
				・18年度採用人数 456人 ・19年度 レベルアップ分 0人 ・20年度 レベルアップ分180人 ・21年度 レベルアップ分360人 ・22年度 レベルアップ分540人			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	奨学生採用者数 463人(大学等95人 高等等368人) 奨学金支給額 34,473千円 採用者内訳 国公立大学 51人(3,772千円) 私立大学 44人(5,025千円) 公立高校 299人(18,742千円) 私立高校 69人(6,934千円) 本計画に係るレベルアップ分としては0人であるが、全体事業としては18年度から7人増となった。			奨学生採用者数 641人<180人>(大学等128<36>人 高校等513<144>人) 奨学金支給費 49,230<14,583>千円 採用者内訳 国公立大学 74<19>人(5,790<1,592>千円) 私立大学 54<17>人(6,315<2,109>千円) 公立高校 408<117>人(26,310<7,960>千円) 私立高校 105<27>人(10,815<2,922>千円) < >内の数字は全体事業のうち、本事業に係るレベルアップ分の数字。			
達成目標の状況							
項 目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
奨学金支給対象数		456人	463人	641人	821人	1,001人	1,000人
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加 これまで、広報さっぽろやリーフレット、市のホームページにより奨学基金への寄附募集のPRを行ってきたことにより、平成19年度は10件13,603千円の寄附があった。 企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり 教育委員会のホームページに、奨学基金への寄附募集や「定時制枠」、「障がい者枠」の新設について掲載するなど、今後とも、さらに寄附や制度のPRを積極的に行っていく。							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード		1-2-1			事業名	札幌市奨学金の拡充		
評価(成果)				課題				
奨学生を拡大して採用することに対し、今年度は1,200名を超える申し込みがあり、例年より200名程度多い応募者数となっている。				市長マニフェストで2010年度までに奨学金の支給対象の倍増が政策項目となっており、20年度補充採用から段階的拡大を図っていく。				
今後の事業の予定・方向								
<p>「既存の奨学基金とは別の基金を新たに設置し、既存の奨学基金で採用されなかった学生等にも奨学金を支給できるようにして欲しい」という趣旨で、個人篤志家より高額な寄附があり、平成20年第2回定例市議会にて新基金を設置する。</p> <p>このことによって、既存の奨学基金で採用する奨学生に加え、新基金運用収入の範囲で奨学生を拡大して採用できるため、平成22年度には、目標である1,000人より多い奨学生を採用できる見込み。</p> <p>なお、新基金運用による奨学生の採用拡大部分は、計画事業の拡充(レベルアップ部分)には含めない。</p>								
事業費の推移								
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計		
計画	事業費	0	14,583	26,103	36,314	77,000		
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0	
		市債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	0	14,583	26,103	36,314	77,000	
予算	事業費	0	14,583	-	-	14,583		
	財源内訳	国・道支出金	0	0			0	
		市債	0	0			0	
		その他	0	0			0	
		一般財源	0	14,583			14,583	
実績	事業費	0	-	-	-	0		
	財源内訳	国・道支出金	0				0	
		市債	0				0	
		その他	0				0	
		一般財源	0				0	
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)					18.9%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)								
(全体)								
[19年度]								
[20年度]								